



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和7年3月発行 嘉手納町教育委員会



卒業及び修了おめでとうございます！

嘉手納中学校の卒業式を皮切りに、幼稚園及び小学校での卒業式・修了式が執り行われました。

今年は、嘉手納中学校 77 期生 129 名、屋良小学校 117 期生 59 名、嘉手納小学校 69 期生 79 名が卒業。また、屋良幼稚園 29 名、嘉手納幼稚園 58 名が修了を迎え、保護者や在校生、お世話になった先生方に見守られながら、思い出を胸に学び舎を後にしました。

嘉手納中学校



屋良小学校



嘉手納小学校



屋良幼稚園



嘉手納幼稚園



桃の節句！ひな祭りお茶会 “自分でお茶を点てるのが楽しかった”

屋良幼稚園並びに嘉手納幼稚園において、「ひな祭りお茶会」が開かれました。表千家流嘉手納町茶道同好会の古謝政子さんから茶器（道具）の説明やお茶のマナー、あいさつの仕方などを教えていただきました。お茶会の開催は今年で 14 回目。園児らは、お茶を立て和菓子を食べながら、お茶会のマナーを学ぶとともに、お互いに点てたお茶を運び合い、おもてなしの心と和の雰囲気を楽しみました。



文部科学省、寺島課長が本町の学校を視察しました！

3月17日、文部科学省 初等中等教育局 学校情報基盤・教材課長 学校デジタル化 PT リーダーの寺島史朗氏が来町し、小・中学校の GIGA スクール構想の様子を視察しました。

視察後の懇談で、寺島課長からは、以下の感想をいただきました。

- 1年間でここまで GIGA スクール構想（校務 DX、教育 DX）を実現できているのは素晴らしい。
- 中学校の生成 AI「100 事例」は大変参考になった。県外ではこのような取組は聞いたことがない。
- 学校独自で作成した『ふりかえりくん』について、生成 AI をこのように活用できるのは面白い。
- 短時間で 1000 文字以上のアウトプットができる児童がいる。タイピング能力が素晴らしい。
- 小学 1 年生も担任の手厚い指導で ICT 機器が活用できている。など



本町においては、この 1 年、文部科学省のリーディング DX スクール事業及び生成 AI パイロット校の研究指定を受け、教育 DX による「未来の学校（教室）づくり」を進めてきました。その成果は着々と子どもたちの学び方に現れてきました。次年度もさらに教育 DX（校務改善、授業改善）を推進するために、文部科学省に対し研究指定の継続申請を行っています。今後ともご理解・ご協力をお願いします！

福地智秋教諭、文部科学大臣優秀教職員表彰、おめでとう！

令和6年度の文部科学大臣優秀教職員表彰が、1月17日に東京大学本郷キャンパス内の安田講堂で表彰式が行われました。

今年度は、沖縄県から13名が選ばれ、そのうちの一人が、嘉手納小学校の福地智秋教諭です。福地教諭は長年にわたり、本県の特別支援教育の充実に努められ、特に、難聴・言語教育の分野においては高い専門性を発揮し、言葉に悩みを抱える児童や保護者に寄り添い、支援を続けて来られました。その功績が認められ、この度表彰されました。おめでとうございます。



かでなまちあるき(屋良コース) 新しい発見がいっぱい！

3月9日、町教育委員会(町史文化財係)が主催した「かでなまちあるき」を開催しました。この事業は、嘉手納町に残る文化財を歩いて周り、町の文化財や歴史について知る機会を増やすことを目的に行いました。コースは、字嘉手納拝所の大ガジュマルから、屋良グスク、東又御嶽・西又御嶽、ヒヌカンまでの2.8km。当日は、天気に恵まれ、参加者全員(8名)が最後まで歩くことができました。まちあるき終了後、参加者からは「屋良グスクを歴史的観点で学べたのは良かった」「とても勉強になりました。はじめて行った場所ばかりで歴史を感じることができました」などの感想が寄せられました。



▲プラザ横の石敢當



▲字嘉手納拝所の大ガジュマル



▲屋良グスク



▲屋良グスク



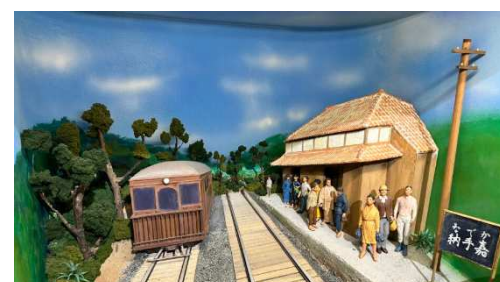
▲東又御嶽・西又御嶽



▲ヒヌカンヤー

嘉手納の歴史や文化が分かる「かでな未来館」へ

かでな未来館は、旧軍飛行場用地問題の解決を図ることを目的として建設されました。かでな未来館という名称は、町民をはじめ、様々な人々が集い、地域に開かれて過去から未来へとつなぐ拠点となることを願い名づけられています。本施設の2階には、歴史民俗資料室があり、琉球列島の成り立ちから現代に至るまでの町の歴史や遺跡、民俗資料が展示されています。



天然記念物！大デイゴの身体測定の結果は？

大デイゴは、嘉手納小学校の校門をくぐり、校内の左側に大きな樹冠で立っています。南国の太陽のもと、四方に大きく枝葉を伸ばし緑の葉を茂らせています。このデイゴは1906年（明治39年）ごろ、島袋正助（北谷間切第五代持頭代）が、島袋家の墓を建てた際、記念木として植えたものといわれています。この大デイゴは、戦災をまぬがれ成長し、美しい樹形を現在にとどめています。



旧：島袋家墓地の大デイゴ【①】

（令和6年8月20日計測）

樹齢：118年

樹高：11m

胸高周囲：12.65m

枝張りの長さ：南北 21.5m・東西 19.75m

枝張り面積：306.2 m²

旧：嘉手納小学校体育館横の大デイゴ【②】

（令和6年8月20日計測）

樹齢：118年

樹高：11.8m

胸高周囲：9.03m

枝張りの長さ：南北 19.0m・東西 25.0m

枝張り面積：379.94 m²

嘉手納野球場オープンに向けて着々と！

3月3日、嘉手納野球場整備工事の視察がありました。同球場は老朽化に伴い、建て替え工事が進められていました。新球場は、県内では珍しい全面人工芝で高校やプロ野球の公式戦に対応し、令和7年4月にオープンを予定しています。※オープニングセレモニー、4月3日（木）9:00～

新嘉手納野球場の概要

- ・3階建ての球場で両翼100メートル、センター122メートル
- ・1, 3塁側には人工芝のブルペンを配置
- ・屋根付きバックネットの裏の観客席は1026席で、球場全体の収容人数は約3000人
- ・レクリエーションや他のスポーツイベントの開催など多目的活用が可能

